

2021年11月30日

**「YAGAMI Healthcare Fund」の設立、  
第1号案件として神戸大学発のスタートアップ企業へ出資  
～ヘルスケア領域のスタートアップ企業への出資・協業を拡大～**

当社はこのたび、ヘルスケア領域における社会課題の解決および事業基盤のさらなる拡大を目的に、総額10億円の「YAGAMI Healthcare Fund」を設立しました。

また、その第1号案件としてDNA合成技術に係る研究および開発に強みを持つ神戸大学発のバイオベンチャーである株式会社シンプロジェン（本社：兵庫県神戸市、代表取締役社長：三宅秀昭、以下、シンプロジェン）による第三者割当増資を引き受けました。

## **1. YAGAMI Healthcare Fund について**

### **■ 設立の目的**

当社は今年、創業150周年を迎え、「すべての人の健康のために、地域社会とつながり、予防、医療、介護のサービスを通じて『人』を支える」を骨子とする中期経営計画を策定しました。

その中で、外部企業との積極的な協業により新たな価値を共創する「YAGAMI オープンイノベーション戦略」を定め、アクセラレーションプログラム「YAGAMI Human Care Pitch」（<https://www.yagami-yhcp.com>）の開催とともに、「YAGAMI Healthcare Fund」を設立し、ヘルスケア領域での事業拡大を推進します。

当社の企業理念である「共利共生」のもと、今後はこれまで以上に外部の経営資源も積極的に取り込み、ヘルスケア業界への更なる貢献を目指します。

### **■ 出資対象**

- ・ヘルスケア領域において、八神製作所と事業上のシナジーが期待できる企業
- ・医療や介護の現場における質の向上、働き方改革につながるDXを推進する企業
- ・その他、ヘルスケア領域において革新的な技術・サービスを有する、もしくは期待できる企業

## **2. 今回出資するシンプロジェンについて**

### **■ 事業概要**

シンプロジェンは、最大 10 万塩基の DNA(長鎖 DNA)を正確かつ低コスト・短期間で合成する技術、「OGAB 法」(注)を保有する、神戸大学発のバイオベンチャーです。DNA 合成技術は、ゲノム編集技術と並ぶ合成生物学分野の最重要基盤技術ですが、同社は当該分野におけるグローバル・リーダーとなることで、持続的な経済成長を目指すバイオエコノミーの時代のキープレイヤーなることを目指しています。

(注) DNA 合成技術「OGAB 法」

シンプロジェンはユーザーが望む通りの「正確」で「長鎖」の DNA を「低コスト・短期間」に合成する DNA 合成技術を保有しています。枯草菌を用いることを特徴とする本技術、「OGAB 法」は、最大 50 からなる DNA 断片をワンステップで結合し、現状では～100 kb の長鎖 DNA を極めて高い成功確率で取得することが可能です。バイオインダストリー分野やライフサイエンス分野を対象として正確かつ長鎖の DNA を提供します。

### **■ 出資理由**

DNA 合成や遺伝子治療の市場はヘルスケア領域の中でも成長性が高く、かつ遺伝性難病に対する治療法として期待が高まり研究開発が活発化している分野です。当社はシンプロジェンと共に、大学病院等の研究開発機関に向けて長鎖 DNA 合成および遺伝子治療用ウイルスベクターに関連する情報提供・販売活動を通じて、新たな事業創出を目指します。

## **3. 今後について**

当社は創業以来、地域の医療機関や介護施設などお客様とのつながりを大切にして事業を営んでまいりました。本件出資を含め、革新的な技術・サービスを有する有望なスタートアップ企業等とともに、すべての人の健康のために、地域社会とつながり、予防、医療、介護のサービスを通じて「人」を支える企業を目指してまいります。

**本件に関するお問い合わせ** : 株式会社八神製作所 総務部広報グループ 052-251-6669